



日本共産党 品川区議会議員 区政報告 のだて 稔史

区政報告について
ご意見、ご要望を
お寄せください。

事務所：品川区豊町6-2-1 TEL：03-3786-6674
区議控室：品川区広町2-1-36 TEL：03-5742-6818

品川区議会一般質問



気候危機打開へ区として具体策を 災害関連死を出さない避難所の改善を

区議会本会議場で私・のだてが一般質問を行いました。一部を紹介します。

本気の取り組みを

世界気象機関WMOは地球の平均気温が産業革命前より1.45℃上昇と発表。1.5℃までに抑えなければ取り返しのつかない地点・ティッピングポイントを超えてしまう危機的状況を警告。対策は待ったなしです。

日本政府は原発と石炭火力に固執し、原発優先で再エネの電気が年間475億円・100万人分も捨てられています。

区は国と同じ姿勢で、全く危

機感がありません。打開にはどんな取り組みで、いつまでに、どれだけ削減するか具体的なロードマップが必要です。

区は太陽光発電設置助成の増額や省エネ促進へ住宅の高断熱化への支援も積極的に進める姿勢がありません。これで気候危機を打開できるわけがありません。国と区の対策の後ろ向きな姿勢の転換が必要です。

◆◇ 質問紹介 ◇◆

Q…区長として原発ゼロ、化石燃料からの脱却を宣言、発信することを求める

A…エネルギー施策は国策

Q…区有施設の太陽光発電による現在のCO2削減量は？

A…年224トンCO2の見込み。

Q…区内住宅の太陽光発電設置棟数と合計キロワット数は？

A…設置件数は1330件、合計7.16メガワット

ティッピングポイントとは？

①永久凍土融解による大量のメタンガス噴出
②海水温上昇によるサンゴの白化と衰退
③森林火災による大量のCO2発生と緑の焼失等
これらがドミノ倒しのように連鎖し地球温暖化が後戻りできなくなってしまう地点。

のだて稔史プロフィール

1985年品川区生まれ、39歳。八潮北小、八潮中、都立雪谷高校、東洋大学工学部建築学科卒。建築設計事務所6年間働く。2015年4月初当選。戸越5丁目在住。家族は両親と兄。シブリ映画、バドミントン、テニスが好き。

能登半島地震の教訓に学び、避難所環境の改善を

元日に発生した能登半島地震。現在も倒壊した家屋がそのまま残されています。生活再建は自己責任にするのではなく国が支援すべきです。

避難所は29年前の阪神淡路大震災と同じ、体育館に雑魚寝というありさま。死者299人のうち災害関連死は70人（7/18現在）に増えています。

対策として我慢せずに利用できるトイレは重要。能登でもトイレが使えず被災生活が困難に。区の現状では世界的な最低基準を定めたスフィア基準にも至りません。トイレ整備の促進が重要です。

段ボールベッドは高齢者に優しく感染症の予防にもなります。避難所毎に備蓄すべきです。これまでの被災地では設置まで3

週間もかかります。区は「災害時協定に基づき民間業者から供給される体制」と説明しますがいつになるかわかりません。すぐに設置することが必要です。

「現状で災害関連死を生み出すことはないのか」との問いに区は答えられません。人災である災害関連死を生み出さない対策強化が必要です。

◆ ◆ 質問紹介 ◆ ◆
 Q…避難所のトイレはスフィア基準に沿って20人に1基整備するよう求める
 A…耐震トイレ、マンホールトイレで70人に1基で準備。
 Q…滞りなく設置するということができるのか

A…明確にいつと言うことは不可能。

活動報告



▲7/20、補助29号線道路の裁判について報告会が行われました。最高裁で棄却され裁判は終わりましたが、生活が終わるわけではありません。引き続き力を合わせようと励まし合いました。白石都議もあいさつし、東京都の土地収用法運用基準が秘密裏に変更されていた大問題を報告しました。



▲6/30、若者憲法集会が行われ、小森陽一東京大学名誉教授が講演。全国から多くの若者が参加しました。各地の取り組みも報告され、自民党による戦争する国づくりを止めようと決意を固めました。平和な日本を子どもたちに残すために品川からも声を上げていきましょう。

無料 法律相談

9月3日(火) 午後6時~8時
 会場：のだて稔史事務所 豊町6-2-1
 お気軽にご相談下さい。弁護士と一緒に話を伺います。
 できるだけ事前にご連絡下さい。TEL 3786-6674



▲ニュースのバックナンバーはこちらから